

鶴見駅西口の喫煙所密閉化が1年後ろ倒しに



申し訳ありません!

通るたびに
受動喫煙
なんとなかならないの?



現在の開放型の喫煙所から
全面リニューアル予定です



現地調査の様子は
Youtubeでも配信しています
これは、市民会からこうした喫煙所の設置の
必要性を指摘しているのではありません。



場所など、あるいはほかの方でも他のタイプ
を思い浮かべたい方もいらっしゃると思います。

鶴見駅西口喫煙所は2025年度中にリニューアルされる予定でしたが、予算審査で質したところ、大幅に工事完了が遅れ、2026年度内 供用開始の見通しとなりました。答弁から纏めると、遅延理由は、①まず場所変更検討において適地が無かったこと、②今の場所ではデッキ柱脚があるため面積が半減すること、③設計に時間を要したこと等です。

答弁では、副市長からは「スケジュールが遅れたことへの率直なお詫び」がありました。期待した皆様には申し訳なく、私自身も重く受け止めています。「子どもの頃から鼻をつまんで通る癖がある」このような声も届けました。

こうした毎日の生活に直結した課題こそ、そのままであることを許さず、真摯に取り組んで参ります。

柏原の活動と横浜市の事業推進

- ・2023年度～ 調査+意見募集+提言
 - ・2024年度末:事業化→25年度末目標
 - ・2025年度末:達成困難に(審査で判明)
 - ・2026年度内に供用開始予定へ修正
- リニューアル後は、密閉型と開放型(電子タバコ用)の混合型となる見込みです。



※他都市での密閉型の導入事例

議員報酬引き上げへ -本当に今やるべきか?-



横浜市議員の年間報酬は約1,675万円です。「なぜ今、議員報酬を引き上げるのか?」私は市民の皆さんに納得いただける説明をできないため、議案に対して反対しました。

| 区分 | 現行(年額) | 改定後 | 増加 |
|----|----------|----------|--------|
| 議員 | 約1,675万円 | 約1,705万円 | +約35万円 |

議員86人全体で年間約4,000万円の予算増へ

現在、市の財政は厳しく、長期財政推計では、2065年に約▲1,752億円の収支差が見込まれ、歳出だけで対応するなら約15%の削減が必要とされています。将来世代への負担の先送りを防ぎ、行政サービスを将来に渡って維持するには、市民の負担増も避けて通れないのが、今の横浜市の現状です。議員の待遇改善は二の次であるべきです。私自身は、議員の率先規範の行動として、これまで毎月12.8万円を被災地や公益性のある団体等に寄付し、HPでも公開しています。今後も議会の実態をオープンにお伝えします。

敬老パス制度に潜む不公平

制度の温存は誰かの負担増で成り立っています

横浜市の敬老パス制度は昭和49年に年間2.9億円だった事業費が、今では140億円規模となりました。ご高齢者の外出を支えることに加え、地域交通などへの利用機会拡大も重要だと考えます。しかし、年間5,000回以上使用しても定額で乗り放題。燃料などの物価高騰、運転手/整備士の賃金上昇、運賃の値上げがあるにも関わらず、利用者の負担が変わっていない点など、制度の持続可能性の観点から大きな問題があります。利益に応じて負担を求める「応益負担」、資産を含め負担できる人には負担してもらう「応能負担」の両面から制度見直しを早期に図るべきです。議会で提言するも、横浜市はやる気がなく、全く利用していない他の市民の負担が増えるばかりです。(現在は70歳以上の市民が市民税の課税額に応じて年額で0円～20,500円の負担で地下鉄や市営バスに乗車できる制度です) 私自身の父親も要介護となり、ご高齢者を支える思いは強いですが、不公平な実態を真摯にお伝えし、理解を求めることは責務だと考えます。世代に関わらず課題を共有し、将来世代に対する責任を共に果たすため、今後も率直にお伝えいたします。



PROFILE

柏原傑(かしわばらすぐる)

1985年広島生まれ/鶴見区寺谷在住/妻と子ども3人の5人家族/公立小中高を経て、千葉大学工学部卒/民間企業を経て、2023年より横浜市議員/会派及び県連政調会副会長/こども青少年・教育委員会及び市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会 委員

市政報告会のご案内と動画配信のお知らせ

2026/5/30(土)14:30-16:30 鶴見公会堂7階で市政報告会を行います。今後の鶴見のこと、身近な気づきなどシェアしませんか。ぜひご参加ください!

Youtubeでは議会質問や最新情報を公開中!



申込フォーム

議会質問・討論に立ちました! -1月～3月末の議会活動をご報告-



質問や要望を行った主な会議

- ・ 2月10日 補正予算議案への質疑
- ・ 2月12日 こども青少年局 関係審査
- ・ 2月16日 教育委員会 関係審査
- ・ 2月24日 経済局/資源循環局(喫煙所など)
- ・ 2月26日 港湾局 / 3月2日 健康福祉局
- ・ 3月06日 都市整備局(地域交通など)
- ・ 3月11日 特別職報酬アップ議案への質疑
- ・ 3月24日 予算議決の討論

3月24日の討論では以下の重要事項を指摘しました!

- ① 高齢化・人口減少・物価上昇に対応した行財政改革の断行 (公共施設の削減、利用者負担見直し、事業の見直し等)
- ② 特別市の早期実現による権限・財源の確保、横浜の発展
- ③ 万博など投資だけで終わらない、成果を重視した成長戦略
- ④ 社会保障費増大に伴う医療・福祉の持続可能性確保
- ⑤ 今後の人手不足を前提とした積極的な都市基盤への投資

山中竹春市長のパウハラ疑惑 -人事部長が告発。一部認める-



山中竹春市長をめぐる一連の問題については、今年1月、横浜市会議長や市職員に対する不適切な発言等をしたとされる報道、市の幹部職員による実名公表・会見を受けて、我々の会派は1月16日に以下の点を求める緊急要望書を提出しました。

- ① 早急な説明、② 第三者委員会の設置、③ 不利益取扱い防止、④ 職員・教職員の不安軽減、⑤ 市政運営の安定確保、⑥ 議会への説明、⑦ 信頼回復に向けた道筋の提示

その後の議会での質問に対しては「一部発言を認めるものの、ハラスメントとは認めない」「調査中であることを理由に答弁を避ける」姿勢に終始し、議会軽視と言っても過言ではない状況です。最終的な事実認定は調査を待つとしても、現時点での説明責任まで先送りにしてよいものではありません。第三者調査は当初より期間が延長され7月末までかかる見込みです。市長が力を使うべき対象は、横浜の大きな課題解決であるべきです。進退を含む結論を早々に出し、本来向き合うべき市政課題の解決が少しでも進むよう、迅速で誠実な対応を強く求めて参ります。

今後の議会の予定

次回の予定は5月中旬から第2回定例会が行われます。次期中期計画の審査などを予定しています。

暗くて狭い鶴見のJR線ガード下 -みなさまの声を市政に!-



鶴見のJR線ガード下「通やすくしてほしい」という声を多数いただいています。現地で鶴見土木事務所さんと状況を確認しました。両方向とも道幅が限られ、歩行者と自転車が交錯しやすい場所です。実際に自転車と接触して怪我をされたお話、数十年来のエピソードなど様々な声が届いています。構造上ハード整備に限界はありますが、今できる改善もあることも確認できました。

例えば、「歩行者専用」と「歩行者優先」の表示が混在し、メッセージが不一致です。4月に自転車の罰則強化がスタートするなかで、表示・案内の整合を取り、歩行者にも自転車利用者にも分かりやすく伝える必要があります。声を可視化して、改善が少しでも進むよう今後も引き続き取り組んで参ります。「050-3637-5722」の電話番号で柏原へ直通で繋がります。

2026年度 鶴見区の変化は? NEW!



連節バス

図書取次所の例

- ① 鶴見駅東口～ふれーゆ間で連結バス導入計画 (2028年～)
- ② ブック&ラウンジ(図書取次書)を鶴見にも準備予定
- ③ 医療費無償18歳まで! 2026年6月から実施へ
- ④ 屋外の路上等での喫煙が市内全域で禁止へ (来春)
- ⑤ 高校授業料が実質的0円。私立高校も対象へ
- ⑥ 小学校の給食費は無償化、中学校は330円で据え置き
- ⑦ 生見尾踏切の跨線人道橋 1.5億円予算計上・設計へ
- ⑧ 2027/3/19開幕の横浜グリーンエキスポ (横浜万博) 18歳未満の子どもは無料招待へ
- ⑨ 共通投票所が来年4月から実現へ



お問合せ

ご意見やご質問は随時受け付け中!
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

